

Fieldwork with Scottish Travellers (3–25 Feb. 2020)

文学研究科 英語圏文化専修 D4

山崎 遼 (Yamasaki, Ryo)

I. 研究内容

- スコティッシュ・トラベラーとは
 - スコットランドの少数移動民族
 - 民俗学者の研究対象(1950年代～)

2. 研究目的

- トラベラーの著作における自己表象抽出



(トラベラーのbow tent)

II. 渡航目的

- インタビュー調査
 - トラベラー2人
 - トラベラーの子孫2人
- 教員・院性への講義
 - Elphinstone Institute (Aberdeen Univ.)
 - トラベラーおよびその著作について講義
- 論文の配布
 - 研究協力者に論文を配布

III. 渡航先での活動 (1) インタビュー調査

- トラベラー
 - (1) Jess Smith
 - トラベラー作家
 - (2) Martha Stewart
 - 行政により「保護」されたHome Children
- トラベラーの子孫
 - (1) David Pullar
 - 法人団体Heart of the Travellers代表
 - 曾祖母はトラベラー作家のBetsy Whyte
 - (2) Simon Robertson
 - 祖父はトラベラー作家のStanley Robertson

IV. 渡航先での活動 (2) 教員・院生への講義

- Elphinstone Institute (Aberdeen Univ.)
 - 2時間の講義
- 題目: Scottish Traveller Writing
 - (1) トラベラーの概説
 - (2) トラベラー研究史
 - (3) トラベラーの著作



(講義の一場面: トラベラーの言語についての解説)

V. 渡航先での活動 (3) 論文の配布

- 研究協力者に論文を配布
 - (1) "Living and Working With 'Scaldies'" (Yamasaki 2018)
 - (2) "Nomadic Storytellers" (Yamasaki 2020)
- 面会した研究協力者
 - (1) Tony Robertson
 - トラベラー作家Stanley Robertsonの息子
 - (2) Nicole Rodgers
 - Stanley Robertsonの娘
 - (3) Grace Banks
 - Stanley Robertsonの友人
 - (4) Pauline Cordiner
 - Grampian Association of Storytellers代表
 - Stanley Robertsonの友人

VI. 成果

- インタビュー調査
 - 4つの新規インタビュー録音
 - 計5時間10分の音声資料作成
- 教員・院性への講義
 - 現地の研究者にトラベラーの著作が持つ重要性を提示
- 論文の配布
 - 研究協力者との関係を維持・強化
 - 信頼関係(rapport)の維持
 - 互酬性(reciprocity)の確保



(4月下旬、移動生活の始まりを告げるエニシダ) (行政との摩擦を暗示する、キャンプ地に掲げられた看板)